

日本海側拠点港の 取組状況について（報告）

国土交通省 港湾局

平成27年3月10日

日本海側拠点港について

- ・経済成長著しい対岸諸国と地理的に近接する日本海側港湾において、既存ストックを活用しつつ、伸ばすべき機能の選択と施策の集中及び港湾間の連携を通じて、**対岸諸国の経済発展を我が国の成長に取り入れるとともに、東日本大震災を踏まえた災害に強い物流ネットワークの構築にも資することを目的とする。**
- ・現在、港湾管理者が荷主等港湾関係者と策定した日本海側拠点港の形成に向けた計画書に基づき、官民が連携した様々な取組が行われているところ。

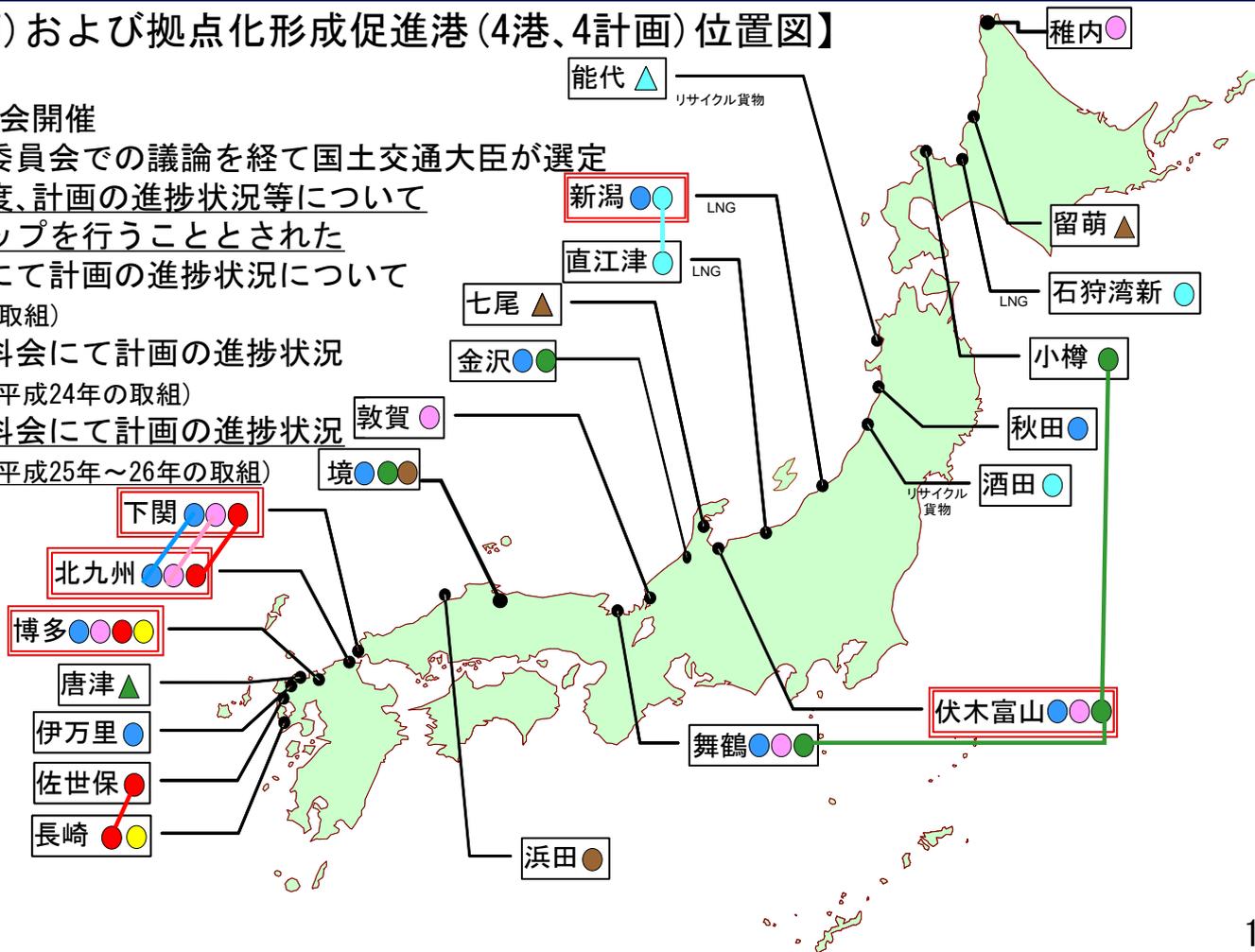
【日本海側拠点港（19港、28計画）および拠点化形成促進港（4港、4計画）位置図】

○主なスケジュール

- ・平成22年11月24日 第1回検討委員会開催
- ・平成23年11月11日 10回にわたる委員会での議論を経て国土交通大臣が選定
 ※1年に1回程度、計画の進捗状況等について
 フォローアップを行うこととされた
- ・平成24年 9月12日 第11回委員会にて計画の進捗状況について
 報告（平成23年の取組）
- ・平成26年 8月 6日 第57回港湾分科会にて計画の進捗状況
 について報告（平成24年の取組）
- ・平成27年 3月10日 第59回港湾分科会にて計画の進捗状況
 について報告（平成25年～26年の取組）

日本海側拠点港〈19港、28計画〉

- 総合的拠点港
 （日本海側拠点港のうち5港）
- 国際コンテナ
- 国際フェリー・RORO
- 国際定期旅客
- クルーズ（定点）
- クルーズ（背後観光地）
- 原木
- その他
- △ 拠点化形成促進港（4港、4計画）



日本海側拠点港について

●日本海側拠点港〈19港・28計画〉

国際海上コンテナ〈10港・9計画〉	「博多港」、「北九州港・下関港」、「新潟港」、「伏木富山港」、「秋田港」、「伊万里港」、「境港」、「舞鶴港」、「金沢港」
国際フェリー・国際RORO船〈7港・6計画〉	「博多港」、「北九州港・下関港」、「敦賀港」、「稚内港」、「伏木富山港」、「舞鶴港」
国際定期旅客〈5港・3計画〉	「博多港」、「北九州港・下関港」、「長崎港・佐世保港」
外航クルーズ(定点クルーズ)〈2港・2計画〉	「博多港」、「長崎港」
外航クルーズ(背後観光地クルーズ)〈5港・3計画〉	「小樽港・伏木富山港・舞鶴港」、「金沢港」、「境港」
原木〈2港・2計画〉	「境港」、「浜田港」
LNG〈3港・2計画〉	「直江津港・新潟港」、「石狩湾新港」
リサイクル貨物〈1港・1計画〉	「酒田港」

【総合的拠点港〈5港〉】

「新潟港」、「伏木富山港」、「下関港」、「北九州港」、「博多港」

※日本海側拠点港19港のうち、取扱貨物量等様々な指標からみて、他の日本海側港湾に比較して総合的な発展可能性が高いと認められる港湾を選定

●拠点化形成促進港〈4港・4計画〉

「留萌港」(原木)、「能代港」(リサイクル貨物)、「七尾港」(原木)、「唐津港」(外航クルーズ(背後観光地クルーズ))

※上記4港については、「日本海側拠点港」としての選定には至らなかったが、拠点港選定に向けて官民挙げて熱意を持って計画を立案・提案したことに鑑み、該当機能に係る「拠点化形成促進港」として選定し、その計画の実現を後押しするためフォローアップを行っていくもの。

各港の取組状況について

平成26年12月に日本海側拠点港（拠点化形成促進港含む）の港湾管理者に対し、「日本海側拠点港の形成に向けた計画書」の主な取組状況と今後の予定について調査を行った。

調査対象年は平成25年（2013年）と平成26年（2014年）とした。ただし取扱貨物量など港湾統計による実績値は、港湾統計公表時期の関係上、平成25年（2013年）とした。

【調査内容】

- (1) 他港との連携の進捗状況 (2) 既存施設の有効活用 (3) 計画実現のための推進体制や行動計画
 (4) 段階計画の進捗状況 (5) 取扱貨物量、航路開設状況等の統計資料

①国際海上コンテナ（1）（10港・9計画）

港名	代表的な取組事例	実績・成果
秋田港	・ロシア船社の秋田港へのスポット寄港を活用しロシア向け自動車用タイヤをトライアル輸送。定期航路化に向けたベース貨物候補を発掘（H26.7）	貨物量増加
新潟港	・東京ビックサイトで開催された「国際物流総合展」において新潟港の利用促進をPR。4日間で約100社に新潟港をセールス。（定期航路はH26.10に1便増加し、週13便） ・国際海上コンテナターミナル拡充するための港湾計画を改定。（H27.3予定）	貨物量横這い
伏木富山港	・港湾間連携による、南海トラフ地震を想定した代替輸送訓練のワークショップ及び図上訓練に参加。（新潟港・伏木富山港、金沢港、敦賀港）【事例①】	貨物量増加
金沢港	・韓国の物流事情を踏まえたポートセールスを実施するため、韓国在住の日本人、韓国人の専門家に物流アドバイザーを委嘱。活動が功を奏し取扱量が増加。	貨物量増加
舞鶴港	・新たな韓国船社が舞鶴港に寄港し、舞鶴～釜山間週2便化。（韓国航路誘致に関する目標達成）	貨物量増加
境港	・定期航路の更なる拡充を目指し、背後圏から山陽地方企業へのポートセールスを強化するため、山陽地方駐在のポートセールス専属スタッフを増員し、H26.4～12にかけて約80社にポートセールスを実施。約1割の企業が境港利用に前向き。	貨物量増加 （中間目標達成）

※実績・成果欄の取扱貨物量等は、平成22年（2010年）と平成25年（2013年）の比較

各港の取組状況について

①国際海上コンテナ(2)(10港・9計画)

港名	代表的な取組事例	実績・成果
下関港 北九州港	・下関・北九州両港は事業継続計画(BCP)をH26年度～H27年度にかけて策定中 ・「利用しやすい港づくり懇談会」を開催し、官民労によるコンテナターミナルの運営効率化や機能強化について検討する。(北九州港)	貨物量増加
博多港	・H25.9より博多港物流ITシステム(HiTS)にスマートホン対応機能を追加。 (HiTS:WEBサイトを用いた、輸出入コンテナの手続き等についての情報をリアルタイムに把握できるサービス)	貨物量増加 (中間目標達成)
伊万里港	・「伊万里港ポートセールス戦略」を策定し、効果的なポートセールスを展開。	貨物量増加 (中間目標達成)

②国際フェリー・国際RORO船(7港・6計画)

港名	代表的な取組事例	実績・成果
稚内港	・日ロフェリー定期航路利用促進協議会を定期的に開催し、稚内・コルサコフ間定期航路の運航円滑化について意見交換を行う。 ・ロシア側旅行代理店による日本旅行商品の開発により、ロシア人観光客が増加。	貨物量増加
伏木富山港	・ウラジオストク向け国際RORO船の週1便の定期運航(H24.10)に加え、月4便の臨時便も就航。ロシア向け中古車輸出が活況。【事例⑥】	貨物量増加 (中間目標達成)
敦賀港	・岐阜県から敦賀港を經由し韓国までの国際RORO船輸送ルート実証事業を実施(H26.2)航空便に比べ輸送コストが安く、リードタイムがほぼ同等と確認された。	貨物量増加
舞鶴港	・京都府および舞鶴市、韓国浦項市 ^{ポハン} の実務者によるプロジェクトチームを立上げ、定期航路開設に向けた会合や船社へのポートセールスを強化。(H27年夏、航路開設見込み)	着実な取組
下関港 北九州港	・H25.3より関釜フェリーを利用した日韓ダブルナンバートレーラーの相互乗入れを開始。	貨物量減 2012年比増加
博多港	・日中間の国際RORO船においてICタグ活用や車上通関など輸送手続きの迅速化を実現	貨物量増加 (中間目標達成)

※実績・成果欄の取扱貨物量等は、平成22年(2010年)と平成25年(2013年)の比較

各港の取組状況について

③国際定期旅客(5港・3計画)

港名	代表的な取組事例	実績・成果
下関港 北九州港	<ul style="list-style-type: none"> 入国審査等の開始時刻を15分繰り上げ(8:00→7:45)、更に出国審査等の開始時刻を1時間半繰下げ予定(18:00→19:30)(下関港) 観光マップを作成(北九州市、下関市) 	韓国航路減便
博多港	<ul style="list-style-type: none"> 韓国便を利用する観光客が市中の免税店で購入した商品を、出国前に旅客ターミナルまで届けるサービスを開始。(H26. 10) 	航路便数増加 (中間目標達成)
長崎港 佐世保港	<ul style="list-style-type: none"> 佐世保市と長崎県が韓国船社を訪問しポートセールスを実施 佐世保港三浦地区に水深10m岸壁を供用し旅客船岸壁としても活用(H26. 4) 平成27年は、中国船社が運行するクルーズ船を中心に30回以上寄港する予定。 	2011年 上海航路誘致 (現在休止中)

④外航クルーズ(定点クルーズ)(2港・2計画)

※2025年において、外航クルーズ又は国内クルーズ(1泊以上)を行うクルーズ船の年間寄港回数50回以上の安定的な寄港を目指したもの。

港名	代表的な取組事例	実績・成果
博多港	<ul style="list-style-type: none"> 博多港発着クルーズの振興に向けた取組として、平成27年4月に2千人規模の博多港発着クルーズを企画。(2014年速報値外国船社クルーズ船寄港回数日本一 99回) 【事例◎】 	寄港回数減 ※2014年増加 (中間目標達成)
長崎港	<ul style="list-style-type: none"> 松が枝国際観光船ふ頭に大型クルーズ客船(乗客3,800人)へ対応するため、CIQ体制整備に伴いターミナルビルを増設。(入国審査が1.5時間程度に短縮、整備前の約半分)(2014年速報値 外国船社クルーズ船寄港回数第2位) 【事例◎】 	寄港回数減 ※2014年増加 (中間目標達成)

※実績・成果欄の取扱貨物量等は、平成22年(2010年)と平成25年(2013年)の比較

各港の取組状況について

⑤外航クルーズ(背後観光地クルーズ)(5港・3計画、拠点化形成促進港1港)

※2025年において、外航クルーズ又は国内クルーズ(1泊以上)を行うクルーズ船の年間寄港回数12回以上の安定的な寄港を目指したもの。

港名	代表的な取組事例	実績・成果
小樽港 伏木富山港 舞鶴港	<ul style="list-style-type: none"> ・クルーズ振興に向け、地元民への周知や機運醸成を図るため「クルーズセミナー」を開催するとともに、着地型旅行商品を開発しPRを行う。(小樽港) ・「伏木港クルーズ客船歓迎クラブ」発足、埠頭内にWi-Fi設置。(伏木富山港) ・外国船社に対するトップセールスやシンポジウム等を積極的に開催。(舞鶴港) 	寄港回数増加
金沢港	<ul style="list-style-type: none"> ・クルーズ船を県民挙げて歓送迎するため「金沢港クルーズ・ウエルカム・クラブ」を設立、会員数4,300人超、石川らしい“おもてなし”の心溢れる歓送迎を実施。(一社)日本外航客船協会主催の「クルーズ・オブ・イヤー2014」特別賞を受賞。 	寄港回数増加
境港	<ul style="list-style-type: none"> ・「境港クルーズ客船環境づくり会議」を年5回程度開催。船社などの担当者を招いた勉強会を実施し、クルーズ客のスムーズな受け入れ体制の構築や、外国人観光客に対する土産品販売を強化。【事例④】 	寄港回数増加
唐津港 (拠点化形成促進港)	<ul style="list-style-type: none"> ・薩長土肥を巡る歴史ツアーなど、他港(萩港、高知港、鹿児島港など)と連携を図り、船社、旅行代理店等へ魅力的なクルーズツアーの提案を行う。 	寄港回数増加

⑥大宗貨物(原木)(2港・2計画、拠点化形成促進港2港)

港名	代表的な取組事例	実績・成果
境港	<ul style="list-style-type: none"> ・中国・韓国向け建築・家具用建材の需要が拡大。鳥取県産材(ヒノキ・スギなど)の輸出が増加 	入港便数増加
浜田港	<ul style="list-style-type: none"> ・境港と連携した大型船による原木の共同調達を実施(18回実施) 	貨物量増加
留萌港 (拠点化形成促進港)	<ul style="list-style-type: none"> ・「留萌港の利活用に関する連絡会議」を開催。木材の輸移出、中国の経済発展に伴う木材需要の情報提供や意見交換を実施 	貨物量増加
七尾港 (拠点化形成促進港)	<ul style="list-style-type: none"> ・七尾港を拠点とした北米材のフィーダー輸送網の確立を目指した輸送実験を実施 	入港便数増加

※実績・成果欄の取扱貨物量等は、平成22年(2010年)と平成25年(2013年)の比較

各港の取組状況について

⑦その他貨物(LNGおよびリサイクル)(4港・3計画、拠点化形成促進港1港)

港名	代表的な取組事例	実績・成果
石狩湾新港 (LNG)	<ul style="list-style-type: none"> 石狩LNG基地営業運転開始(H24.11) 3基目のLNGタンク建設開始(H26) 	貨物量増加
新潟港 直江津港 (LNG)	<ul style="list-style-type: none"> 中部電力上越火力発電所2-2号機営業運転開始(H26.5) 直江津港背後のガスエンジン発電所(電力小売り事業)の建設工事着工(H26.4) 	貨物量増加 (中間目標達成)
酒田港 (リサイクル)	<ul style="list-style-type: none"> 姫川港、能代港と3港合同勉強会を開催し、企業連携によるリサイクル貨物の混載、合い積みについて検討。【事例⑥】 	貨物量増加
能代港 (拠点化形成促進港・リサイクル)	<ul style="list-style-type: none"> 国際循環資源フォーラムに能代港周辺のリサイクル関連企業、商工会議所、県、市が参加し、資源の国際利用について情報収集を実施。【事例⑥】 	着実な取組

※実績・成果欄の取扱貨物量等は、平成22年(2010年)と平成25年(2013年)の比較

各港の取組状況について

【代表事例の紹介】

事例① 太平洋側大規模災害発生時を想定した代替輸送訓練 (国際海上コンテナ)

平成25年(2013年)に引き続き、首都直下地震、南海トラフ地震を想定地震として、関東圏および中京圏の企業が日本海側港湾で代替輸送を行うとした模擬訓練を、新たな想定条件により実施。

【新潟港、伏木富山港、金沢港、敦賀港】

●参加者：太平洋側港湾利用荷主、京浜港及び名古屋港が被災した際の代替輸送に関心のある企業等

- (1) 荷主 (2) 陸運(物流業者) (3) 港運業者
(4) 倉庫業者 (5) 船社 (6) 港湾管理者

●訓練の概要：東京会場および名古屋会場において、ワークショップおよび図上訓練を実施

(代替輸送を行うための手順の確認、模擬災害体験演習、課題整理等)

東京会場：首都直下地震により、京浜港(東京港、川崎港、横浜港)が使用不能という想定

名古屋会場：南海トラフ地震により、名古屋港が使用不能という想定

(名古屋会場ワークショップ H26. 11. 28)



事例② ロシア向け中古車輸出が活況 (国際フェリー・国際RORO船)

平成24年(2012年)10月、伏木富山・ウラジオストク間の国際RORO定期航路(1便/週)が開設されて以来、ロシア向けの中古車輸出が活況で、平成25年(2013年)は、中古車を中心に約87万トンの取扱量(平成22年比2.5倍)を記録した。【伏木富山港】

●伏木富山港～コルサコフ港 国際RORO定期航路

航路開設日：平成24年10月3日

便数：週1便 その他不定期で月4便運行

主な貨物：中古自動車

平成22年(2010年) 34.5万トン (不定期2便/月)

平成25年(2013年) 86.7万トン ※平成22年比2.5倍

伏木富山港 ロシア向け中古車の荷役



各港の取組状況について

事例◎ 「外航クルーズ船寄港誘致に向けた連携した取組」(外航クルーズ)

「観光立国実現に向けたアクション・プログラム2014」に基づき、平成32年(2020年)の「クルーズ100万人時代」の実現に向け、官民一体で取組を進めている。全国組織の「クルーズ活性化会議」、日本海側地域の「環日本海クルーズ推進協議会」や各港湾同士の連携した誘致活動などの取組により、平成26年(2014年)外国船社によるクルーズ船寄港回数(速報値)は、博多港が99回で第1位、長崎港が70回で第2位、小樽港が31回で第7位にランクインされた。また、日本海側港湾では計244回となり国内の約4割を占める(全国計654回は過去最高)。

クルーズ船は寄港地を中心に一度に多くの観光客が訪れ、グルメ、ショッピングなど地域での消費者需要が喚起され、地方創生に資することが期待されることから、各港の特色を生かした様々な取組が行われている。【小樽港、伏木富山港、金沢港、舞鶴港、境港、博多港、唐津港、長崎港】

図表 2009~2014年 我が国港湾へのクルーズ船の寄港回数



注) 2014年の値は、港湾管理者からの聞き取りによる速報値であり、今後、変動する可能性がある。

「クルーズ100万人時代に向けて(2014年速報値公表)」

H27. 1. 30港湾局産業港湾課・記者発表資料より



クルーズ活性化会議(H26. 6)
要望書を会長より
国土交通大臣政務官へ手交



博多港中央ふ頭(H26. 8)

各港の取組状況について

事例④ 「外航クルーズ船寄港誘致の取組」(外航クルーズ)

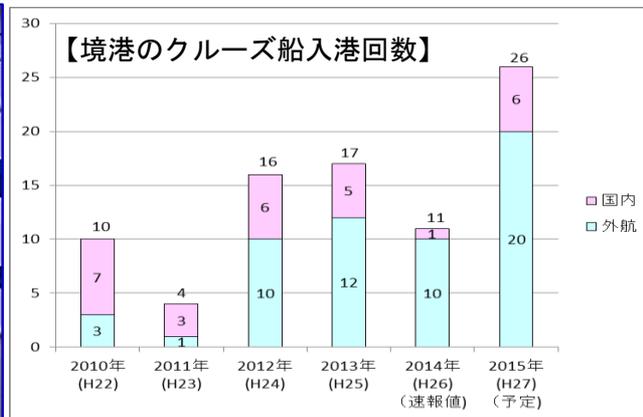
鳥取・島根両県に跨がる境港では、クルーズ船寄港誘致活動の一環として、誘致から寄港時対応までを官民一丸となり行うことを目的とした「境港クルーズ客船環境づくり会議」を設立。船社や旅行会社の担当者を招いた勉強会を定期的に行い、クルーズ客船の受け入れ体制を強化した。平成25年(2013年)の寄港回数は17回(H22年比1.7倍)で、平成27年(2015年)は26回を予定している。【境港】



境港クルーズ客船環境づくり会議
(境港管理組合HPより)



境港のクルーズ船へのおもてなし
(境港管理組合HPより)



事例⑤ 港間の連携した取組による、取扱貨物量の拡大(その他貨物(リサイクル))

リサイクルポートの、能代、酒田、姫川3港合同で、対岸諸国のリサイクル貨物の動向や、企業連携による混載・合い積みによる輸送などを検討し、リサイクル貨物の流通拡大を図る。

【酒田港、能代港】

●酒田港におけるリサイクル貨物の動向

中国・韓国向けの金属スクラップを中心に平成25年(2013年)取扱量は約19万ト(H22年比約1.2倍)と過去最高を記録(内貿リサイクル貨物込約54万ト)。また、平成26年(2014年)は国際海上コンテナによる中国向け再生樹脂(廃プラスチックの加工品)の輸出や、港内に立地した紙おむつ工場からの中国・ロシア向け輸出が好調で、国際海上コンテナ貨物取扱量は過去最高を記録。

酒田港 リサイクル貨物の荷役状況



取組状況のフォローアップについて

【各港における取組について】

日本海側拠点港選定後3年が経過した。日本海側港湾の可能性について「光」をあてた結果、港湾管理者が中心となり、官民一体で計画実現に向けた様々な取組が行われ、国際海上コンテナ等の取扱貨物量やクルーズ船寄港回数が増加するなど、選定された港湾において、成果が現れていることを確認した。

特に、外航クルーズに関する、地域毎に特色のある取組の結果、平成26年(2014年)寄港回数(速報値)は過去最高を記録し、平成27年(2015年)も更に伸びることが予想されている。

その他の計画も、様々な取組が進められていることを確認した。

【各計画の貨物量等の実績について(平成25年(2013年)実績)】

港湾管理者が中心となり、官民一体で積極的な取組が行われた結果、各計画の選定時よりも、選定後3年目の値が上回っている計画が、全体32計画(約8割)となり、平成27年(2015年)の中間目標値についても、前倒して9計画(約3割)が達成している。

【今後の取組について】

今後も、各港においては、引き続き、計画の実現に向けた取組を更に進め、平成27年(2015年)の中間目標を達成できることを期待したい。

参考資料：取扱貨物量等データ①

①国際海上コンテナ(10港・9計画)

港名	単位	目標値		実績値			2012年/ 2010年	2013年/ 2010年	2012年/ 2013年	2013年 > 2010年	2013年 > 2012年	2015年 中間目標 達成
		2015年	2025年	2010年	2012年	2013年						
秋田港	実入りのみ(TEU)	16,600	50,900	3,007	4,167	4,379	139%	146%	105%	○	○	----
新潟港	空コン含む(TEU)	208,000	287,000	115,831	121,483	115,296	105%	100%	95%	----	----	----
伏木富山港	空コン含む(TEU)	71,900	106,100	29,800	37,900	45,400	127%	152%	120%	○	○	----
金沢港	実入りのみ(TEU)	26,000	42,000	14,639	15,031	17,758	103%	121%	118%	○	○	----
舞鶴港	実入りのみ(TEU)	16,000	62,000	4,103	5,902	6,906	144%	168%	117%	○	○	----
境港	実入りのみ(TEU)	11,970	26,290	7,530	9,751	12,050	129%	160%	124%	○	○	○
下関港・北九州港	空コン含む(TEU)	358,000	503,000	249,554	317,190	306,126	127%	123%	97%	○	----	----
博多港	空コン含む(TEU)	532,360	887,266	443,632	507,676	531,877	114%	120%	105%	○	○	○
伊万里港	実入りのみ(TEU)	29,500	57,000	20,925	20,294	36,611	97%	175%	180%	○	○	○

※ 国際海上コンテナ貨物の目標値及び取扱貨物量については、中国・ロシアを中心としたダイレクト航路によるもの

②国際フェリー・国際RORO船(7港・6計画)

港名	単位	目標値		実績値			2012年/ 2010年	2013年/ 2010年	2013年/ 2012年	2013年 > 2010年	2013年 > 2012年	2015年 中間目標 達成
		2015年	2025年	2010年	2012年	2013年						
稚内港	便数(便/週)	----	5	1~ 2	1~ 2	1~ 2	100%	100%	100%	○	○	----
	貨物(トン)	----	58,550	733	979	1,154	134%	157%	118%			
	乗客数(人)	----	52,760	3,903	4,219	3,728	108%	96%	88%			
伏木富山港 ※実績は 国際ROROのみ	便数(便/週) ※()書きは 月当たりの不定期便数	2	7	(2)	1 (3)	1 (4)	----	----	----	○	○	○
	貨物(トン)	491,000	976,000	344,934	676,794	866,761	196%	251%	128%			
	乗客数(人)	----	----	----	----	----	----	----	----			
敦賀港	便数(便/週)	5	9	2	2	2	100%	100%	100%	○	○	----
	貨物(トン)	44,000	136,900	4,715	14,213	14,884	301%	316%	105%			
	乗客数(人)	----	----	----	----	----	----	----	----			
舞鶴港	便数(便/週)	2	5	実績なし	実績なし	実績なし	----	----	----	----	----	----
	貨物(トン)	17,541	55,910									
	乗客数(人)	50,000	130,000									
下関港・北九州港	便数(便/週)	18	25	17	11~ 12	11	71%	65%	100%	----	○	----
	貨物(トン)	1,900,000	2,800,000	1,831,123	1,345,625	1,433,311	73%	78%	107%			
	乗客数(人)	----	----	313,386	187,470	173,406	60%	55%	92%			
博多港	便数(便/週)	達成済み	達成済み	9	9	9	100%	100%	100%	○	○	○
	貨物(トン)			1,099,760	1,111,925	1,103,734	101%	100%	99%			
	乗客数(人)			692,927	635,290	575,516	92%	83%	91%			

(注) 博多港は、応募年時点で既に目標を満たしていることから、数値目標は設定していない。

参考資料：取扱貨物量等データ②

③ 国際定期旅客 (5港・3計画)

港名	単位	目標値		実績値			2012年/ 2010年	2013年/ 2010年	2013年/ 2012年	2013年 > 2010年	2013年 > 2012年	2015年 中間目標 達成
		2015年	2025年	2010年	2012年	2013年						
下関港・北九州港	便数(便/週)	15	20	15	10	9	67%	60%	90%	---	---	---
	乗降客数(人)	330,000	460,000	313,386	187,470	173,406	60%	55%	92%	---	---	---
博多港	便数(便/週)	達成済み	達成済み	42~ 63	42~ 63	34~ 69	100%	110%	110%	○	○	○
	乗降客数(人)			692,927	635,290	575,516	92%	83%	91%			
長崎港・佐世保港	便数(便/週)	10	18	実績なし	1	0	皆増	0%	皆減	---	---	---
	乗降客数(人)	681,000	1,372,000		7,377	0	皆増	0%	皆減			

④ 外航クルーズ (定点クルーズ) (2港・2計画)

港名	単位	目標値		実績値			2012年/ 2010年	2013年/ 2010年	2013年/ 2012年	2013年 > 2010年	2013年 > 2012年	2015年 中間目標 達成
		2015年	2025年	2010年	2012年	2013年						
博多港	寄港回数(うち、外航)(回)	達成済み	達成済み	84 (63)	112 (91)	38 (22)	133% (144%)	45% (35%)	34% (24%)	---	---	○
	乗降客数(うち、外航)(人)			194,557 (179,965)	221,410 (210,290)	68,049 (57,834)	114% (117%)	35% (32%)	31% (28%)			
長崎港	寄港回数(うち、外航)(回)	25 (25)	107 (107)	54 (44)	73 (72)	39 (37)	135% (164%)	72% (84%)	53% (51%)	---	---	○
	乗降客数(うち、外航)(人)	---	---	55,891 (52,576)	81,157 (80,797)	53,193 (52,129)	145% (154%)	95% (99%)	66% (65%)			

⑤ 外航クルーズ (背後観光地クルーズ) (5港・3計画、拠点化形成促進港1港)

港名	単位	目標値		実績値			2012年/ 2010年	2013年/ 2010年	2013年/ 2012年	2013年 > 2010年	2013年 > 2012年	2015年 中間目標 達成	
		2015年	2025年	2010年	2012年	2013年							
協同計画	小樽港	寄港回数(うち、外航)(回)	---	34 (19)	16 (4)	19 (8)	18 (10)	119% (200%)	113% (250%)	95% (125%)	○	○	---
		乗降客数(うち、外航)(人)	---	---	7,007 (2,900)	8,038 (4,218)	8,739 (6,474)	115% (145%)	125% (223%)	109% (153%)			
	伏木富山港	寄港回数(うち、外航)(回)	---	19 (10)	5 (0)	8 (3)	6 (1)	160% (皆増)	120% (皆増)	75% (33%)			
		乗降客数(うち、外航)(人)	---	---	2,405 (0)	6,596 (2,641)	5,152 (2,721)	274% (皆増)	214% (皆増)	78% (103%)			
	舞鶴港	寄港回数(うち、外航)(回)	---	14 (9)	3 (1)	3 (2)	7 (4)	100% (200%)	233% (400%)	233% (200%)			
		乗降客数(うち、外航)(人)	---	---	2,188 (706)	1,583 (861)	6,018 (5,364)	72% (122%)	275% (760%)	380% (623%)			
金沢港	寄港回数(うち、外航)(回)	---	20 (16)	6 (3)	6 (5)	18 (13)	100% (167%)	300% (433%)	300% (260%)				
	乗降客数(うち、外航)(人)	---	6,347 (4,531)	2,447 (255)	2,709 (2,109)	12,227 (8,474)	111% (827%)	500% (3,323%)	451% (402%)				
境港	寄港回数(うち、外航)(回)	26 (16)	58 (48)	10 (3)	16 (10)	17 (12)	160% (333%)	170% (400%)	106% (120%)				
	乗降客数(うち、外航)(人)	---	55,000 (50,000)	5,138 (255)	8,920 (5,860)	10,896 (7,962)	174% (2,298%)	212% (3,122%)	122% (136%)				
唐津港(促進港)	寄港回数(うち、外航)(回)	7 (3)	14 (11)	1 (0)	4 (0)	1 (0)	400% (0%)	100% (0%)	25% (0%)				
	乗降客数(うち、外航)(人)	4,400 (2,400)	10,800 (9,000)	524 (0)	1,680 (10)	800 (0)	321% (皆増)	153% (0%)	48% (皆減)				

(注) 博多港は、応募年時点で既に目標設定基準を満たしていることから、数値目標は設定していない。

参考資料：取扱貨物量等データ③

⑥ 大宗貨物(原木) (2港・2計画、拠点化形成促進港2港)

港名	単位	目標値		実績値			2012年/ 2010年	2013年/ 2010年	2012年/ 2013年	2013年 > 2010年	2013年 > 2012年	2015年 中間目標 達成
		2015年	2025年	2010年	2012年	2013年						
境港	貨物量(トン)	750,000	1,020,000	379,268	377,640	308,710	100%	81%	82%	○	----	----
	3万DWT級 入港回数	----	----	11	21	19	191%	173%	90%			
浜田港	貨物量(トン)	300,000	500,000	136,097	138,074	171,066	101%	126%	124%	○	○	----
	3万DWT級 入港回数	14	13※2	6	11	10	183%	167%	91%			
留萌港(促進港)	貨物量(トン)	----	330,000	7,891	12,942	11,917	164%	151%	92%	○	----	----
	3万DWT級 入港回数	----	----	----	----	----	----	----	----			
七尾港(促進港)	貨物量(トン)	375,000	351,000	102,254	80,773	89,785	79%	88%	111%	○	○	----
	3万DWT級 入港回数	----	----	7	4	8	57%	114%	200%			

⑦ その他貨物(LNGおよびリサイクル) (4港・3計画、拠点化形成促進港1港) (LNG)

港名	単位	目標値		実績値			2012年/ 2010年	2013年/ 2010年	2012年/ 2013年	2013年 > 2010年	2013年 > 2012年	2015年 中間目標 達成
		2015年	2025年	2010年	2012年	2013年						
石狩湾新港	取扱量(トン)	3,100,000	4,600,000	0	192,637	817,553	皆増	皆増	424%	○	○	----
	入港回数(回)	40	59	0	2	9	皆増	皆増	450%			
新潟港・直江津港	取扱量(トン)	14,000,000	20,000,000	7,084,721	13,034,230	14,154,367	184%	200%	109%	○	○	○
	入港回数(回)	----	----	55	96	102	175%	185%	106%			

(リサイクル)

港名	単位	目標値		実績値			2012年/ 2010年	2013年/ 2010年	2012年/ 2013年	2013年 > 2010年	2013年 > 2012年	2015年 中間目標 達成
		2015年	2025年	2010年	2012年	2013年						
酒田港	輸出(万トン)	20	35	15.3	18.7	18.8	122%	123%	101%	○	○	----
	輸入(万トン)	----	10	0	0	0	----	----	----			
	合計(万トン)	20	45	15.3	18.7	18.8	122%	123%	101%			
能代港(促進港)	輸出(万トン)	8	13	5.3	2.4	3.6	45%	68%	150%	----	○	----
	輸入(万トン)	----	5	0	0	0	----	----	----			
	合計(万トン)	8	18	5.3	2.4	3.6	45%	68%	150%			